

姫島エコツーリズム推進協議会

「新たなモビリティの普及の研究と事業化」 ～電気自動車を活用した地域活性化の取組み～

レジュメ

1. 姫島の紹介
2. 研究の目的と経緯
3. マーケティング実証実験の取組み
4. エコツーリズムの事業化



姫島の紹介

詩情と伝説の島 「姫島（ひめしま）」

大分県国東半島の北、周防灘と伊予灘の境界に位置する離島

- ・古事記の女島（ひめじま）
- ・日本書紀の比売語曾（ひめこそ）の神の島



住 所：大分県国東郡姫島村
面 積：6.98平方キロメートル（東西約7km）
人 口：2,000人（897世帯）
観光客：約35,000人（H27年度）



研究の目的と経緯

人や環境にやさしいまちづくりを実現するため
再生可能エネルギーと新たなモビリティを
活用した事業を目指す



平成21年

「電気自動車普及の研究」
産学官交流グループ立上げ



平成22年

大分県新エネルギー産業化研究会

平成23年

大分県エネルギー産業企業会

平成24年

モビリティ活用実証実験



平成26年

エコツーリズム事業
スタート

超小型電動モビリティのエネルギーを
再生自然エネルギーを利用して給電する
「青空コンセント」を開発



利活用マーケティング1

離島観光

期間:平成24年7月～10月(4ヶ月間)
場所:大分県姫島村
内容:観光客の周遊レンタカー



山間観光

期間:平成24年11月～2月(3ヶ月間)
場所:大分県耶馬溪町
内容:観光客の周遊レンタカー



公用活用

期間:平成25年2月～4月(2ヶ月間)
場所:大分県中津市役所
内容:公用車として使用



利活用マーケティング2

宅配業務

期間:平成25年5月～7月(3ヶ月間)

場所:中津市セブンイレブン犬丸店

内容:宅配車両として使用

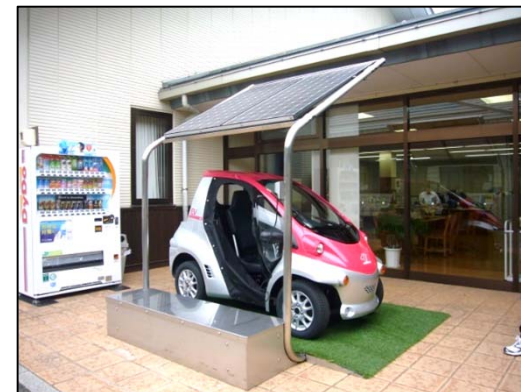


福祉訪問

期間:平成25年8月～11月(4ヶ月間)

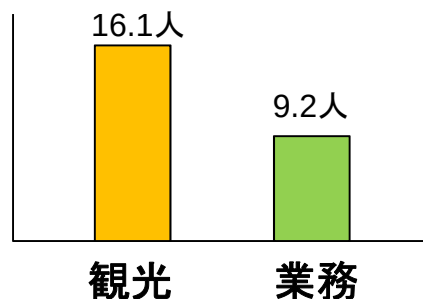
場所:岡山県栗倉村

内容:介護、福祉訪問車として使用

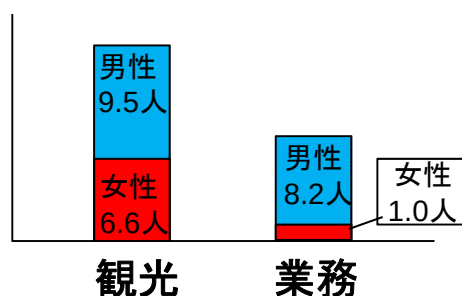


<アンケートによるマーケティング結果>

1. 月間利用者数



2. 性別利用者数



観光利用者の声

- ・快適で楽しい、近所の買い物でも使いたい
- ・田舎は道が細くても運転がしやすい

業務利用者の声

- ・環境にはよいが交通量が多いと安全性が心配
- ・天候が悪いと使いづらい

姫島エコツーリズムの事業化

(姫島の課題)

- ・ 少子高齢化 (→人口減少→担い手の不足)
- ・ 温暖化 (→根幹産業(漁業)の衰退→雇用口の減少)
- ・ 離島 (→2次交通、観光案内所無し→観光業伸び悩み)

(ビジョン) 姫島の自然環境を守り、歴史文化を輝かせ、
観光振興による持続した地域活性化を目指す。



平成26年 6月 「姫島エコツーリズム推進協議会」設立

構成員 T・プラン(株)
 (株) おおいた姫島
 姫島観光LLP「島の風」
 姫島女将の会「きちょくれ」
 姫島村商工会
 パシフィックコンサルタンツ(株)

アドバイザー 姫島村、大分県
オブザーバー 日産自動車、ヤマハ発動機 他



事業化における地域活性の効果

女性が活躍できる職場の創出

- ・地元の主婦を雇用
- ・女性の生活リズムに合わせたシフト構築
- ・女性の提案型の観光イベント実施

二次交通の整備で交流人口の増加

- ・小型電気自動車の導入
- ・観光案内所とレンタカー事務所を併設

ファンドで資金調達、投資家特典で特産品を分配

- ・大分 姫島エコツーリズムファンドを組成
 - 島に新しい交通インフラを作る

一口金額 21,140円

募集総額 5,000,000円

雇用の創出



2人乗りモビリティー



姫島ブランド車エビ



地域活性化の取り組み事例

観光周遊レンタル・交流カフェを活用したデスティネーションマーケティング

- ・環境と観光が融合したツーリズム
- ・デスティネーションマーケティングデータを活用した効率的な宣伝活動



介護施設で低速電動カートを活用した外出レクリエーション

- ・閉じこもり予防、認知症予防のための外出機会の創出
- ・介護者負担の軽減、高齢者の自立化支援

